

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和07年02月03日

計画の名称	岩手県生活基盤施設耐震化等事業計画（第3期）（防災・安全）（重点）												
計画の期間	令和07年度 ～ 令和11年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	盛岡市,大船渡市,一関市,陸前高田市,二戸市,岩手町,岩手中部水道企業団												
計画の目標	水道施設の防災機能の強化												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	8,541	A	8,541	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
	令和7年度当初	令和9年度末	令和11年度末	
1	基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長（令和6年度末：1,439,130m ⇒ 令和11年度：1,503,965m）			
	基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長	1439130m	1471548m	1503965m
	基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
生活基盤施設耐震化等交付金からの継続事業を含む												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	盛岡市	直接	盛岡市	－	－	導水管・送水管耐震化事業	導送水管の耐震化	盛岡市	■	■	■	■	■	2,434		－
	A07-002	水道	一般	盛岡市	直接	盛岡市	－	－	重要施設配水管	重要給水施設までの配水管の耐震化	盛岡市	■	■	■	■	■	2,778		－
		旧生活基盤施設耐震化等交付金からの継続事業																	
	A07-003	水道	一般	大船渡市	直接	大船渡市	－	－	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管布設替工事 L=6.3km	大船渡市	■	■	■	■	■	945		－
	A07-004	水道	一般	一関市	直接	一関市	－	－	重要施設配水管	管路更新 3.0km	一関市	■	■	■	■	■	650		－
		旧生活基盤施設耐震化等交付金からの継続事業																	
	A07-005	水道	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	－	－	導水管・送水管耐震化事業	導水管の耐震化工事	陸前高田市	■	■	■	■	■	127		－
	A07-006	水道	一般	陸前高田市	直接	陸前高田市	－	－	重要施設配水管	重要施設配水管の耐震化工事	陸前高田市	■	■	■	■	■	276		－
	A07-007	水道	一般	二戸市	直接	二戸市	－	－	導水管・送水管耐震化事業	導水管・送水管の耐震化	二戸市	■	■	■	■	■	250		－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-008	水道	一般	岩手町	直接	岩手町	－	－	沼宮内地区配水管更新事業	配水管布設替 L=1.8km	岩手町	■					112		－	
	A07-009	水道	一般	岩手中部 水道企業 団	直接	岩手中部水 道企業団	－	－	重要施設配水管	重要施設配水管更新	北上市・花巻市 ・紫波町	■					969		－	
												小計						8,541		
											合計						8,541			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					